

TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成25年6月10日 第73号

浜田市農林業支援センター

はじめに

今年は例年になく早い梅雨入りで、地域によっては水不足が懸念されていましたが田植え作業はほぼ終わられたのではないのでしょうか。梅雨時期は体調管理が難しい時期です。健康管理には充分注意を払い、秋の収穫に向けて頑張りましょう。

なお、当支援センターでは、**水稻生産実施計画書の取りまとめ**を行っています。申請時より変更が有りましたら速やかに報告をお願いします。（浜田市農林業支援センター長 大谷 十三一）

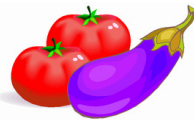
1. 各支援チームからの話題

★ 新規就農者支援チーム いなだ なかた (担当：稲田・中田)

農林大学校オープンキャンパス

島根県立農林大学校（大田市波根町）において、平成25年度オープンキャンパス「緑の学園」が開催されます。これは、学生募集の一環として、農林大学校の教育について理解を深めていただくためのものです。申込先は農林大学校となりますが、当支援センターにも申込用紙がありますので、参加を希望される方はご連絡ください。

- ◆日 時：7月26日（金）、8月4日（日）、8月8日（木）
（大田キャンパス 10：00～15：30 飯南キャンパス 10：20～14：00）
- ◆場 所：大田キャンパス（農業科）大田市波根町970-1、飯南キャンパス（林業科）飯南町上来島1207
- ◆コース：有機コース（秋野菜播種） 野菜コース（秋野菜播種） 花きコース（切花の播種等）
果樹コース（ぶどう収穫等） 肉用牛コース（飼料給与等） 林業コース（機械操作等）
- ◆対 象：高校生をはじめ、興味を持っている方（保護者の方の参加もできます）
- ◆申込期限：各実施日の7日前まで（農林大学校必着）
※詳しくは… 農林大学校HP <http://www.pref.shimane.lg.jp/norindaigakko/>



● 認定農業者支援チーム なかた いなだ (担当：中田・稲田)

田んぼにへびが来襲？



6月2日、金城町の認定農業者 藤若将浩さんが企画した、恒例の「稲作体験イベント」が開かれ、小雨が降る中、地元の方をはじめ、総勢約30名の参加がありました。この日は、たくさんの子供達も参加し、泥んこになりながら稲を植えたり、田植機に乗せてもらったり、楽しいひとときを過ごしました。

また、品種の違う苗を植え、稲の生長により画が浮かび上がってくる「田んぼアート」では、今年の干支にちなんで「へび」に挑戦されています。どのように浮かび上がってくるのか今から楽しみです。



■ 集落営農組織支援チーム たばら もりわき (担当：田原・森脇)

集落ビジョン実践塾が開催されます

この度、今年度第1回目の集落ビジョン実践塾が以下の日程で開催されます。

集落ビジョンとは、地域の農地・暮らし・環境などについての総合的な将来図を描いて地域活性化の柱にしようというもので、島根県が作成を推進しています。すでに県内のいくつかの集落で集落ビジョンを作成し、地域活性化活動につなげています。集落ビジョン実践塾はビジョン作成と実践に向けた手法を講習するもので、今回は事例報告と講演が行われます。

集落ビジョン作成に興味をお持ちの方で、実践塾への参加を希望される方は6月28日（金）までに当支援センターまでご連絡ください。

日時：平成25年7月10日（水） 13：00～16：30

場所：ビッグハート出雲（出雲市駅南町）

2. 農薬の安全な使用について

6月1日から8月31日までの3か月間、**農薬危害防止運動**が実施されています。近年では、農産物の安全安心、また環境保全について関心が高まっており、農薬の使用についてはより安全で適正な使用が求められています。

この運動の主な重点指導事項として、使用基準の遵守、住宅地・隣接地等における危害防止、農薬散布者の事故防止、環境への危害防止、保管管理の徹底と適正処分があります。今一度、使用される農薬の使用方法や周辺環境を確認し、安全な農薬使用を心がけましょう。

3. 第11回 JA いわみ中央乾椎茸品評会



5月16日、今年で第11回目となる**JA いわみ中央乾椎茸品評会**が、金城ふれあい会館で行われました。

今年度は春先の乾燥のために例年よりも収穫量が落ち込んでいた中、当日は参加者の皆様が手塩にかけた逸品が数多く出品され、最優秀賞が競われました。また表彰に先立ち、生産組合の藤若組合長から「**他の出品物から学び、良い椎茸を生産していきましょう**」とのお言葉がありました。

箱物の部で10点、普通物の部で37点の出品があり、箱物の部で**小西ヒサヨさん**が、普通物の部で**三浦功さん**が最優秀賞を受賞されました。

今回出品された普通物は6月8日に邑智郡で行われました第7回島根県乾椎茸品評会に出品され、**三浦功さん**（島根県知事賞）、**岩地正男さん**（全農麦類農産部長賞）、**笹後貞夫さん**（日本きのこセンター理事長賞）が優秀賞を受賞された他、8名の浜田市生産者の皆様が各賞を受賞されました。

今後も高品質な椎茸生産に期待し、当支援センターも応援していきます。



4. 第1回西条柿栽培講座

浜田市特産果樹の1つである西条柿の後継者確保と産地強化を目的とし、今年度も**西条柿栽培講座**を実施しています。当講座は、西部農林振興センター浜田農業普及部の梶谷専門農業普及員を講師とし、時期に応じた作業や栽培の基礎知識などを講習しています。

今年度は7名の参加希望者があり、5月24日に第1回講習会が開催されました。今回は蕾の数を調整する「摘蕾」の講習が行われ、座学の後で講師の指導のもとに実際に摘蕾作業を行っていただきました。作業中にも積極的に質問や意見があり、有意義な講習となりました。



5. 平成25年度農業技術センター試験研究成果発表会の開催について

島根県農業技術センターでは、生産を支える新たな技術開発の取り組みとして、水稻や野菜などの栽培研究が行われています。このたび、その**研究結果の発表会**が開催されます。アジサイのオリジナル品種「万華鏡」をはじめ、各種作目の栽培技術等について、最新の研究成果や技術情報が提供される内容となっています。参加についての申込は不要です。興味のある方はぜひご参加ください。

- ・日時 平成25年7月10日（水）10時～15時40分
- ・場所 島根県農業技術センター 花振興棟大会議室
（出雲市芦渡町2440）
- ・参集者 農業者、市町村、JA・農業団体、大学、県関係機関ほか
- 問い合わせ先：島根県農業技術センター 古川・三原(0853-22-6698)

○当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様にご配信中です。
○ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発刊元 浜田市農林業支援センター

〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741（JAいわみ中央本所分館2階）

TEL：0855-22-3500 FAX：0855-22-3477 E-mail：n-shien@city.hamada.shimane.jp